



拳ノ川小学校
『生きる力と自主性・主体性の育成』
校長 文野友喜

◆はじめに

黒潮町教育委員会より、昨年度から再び2年間（文部科学省指定を入れて今年で8年目）の「**学校運営協議会（コミュニティ・スクール）**」の指定を受け、保護者・地域住民が学校運営に参画し、学校・家庭・地域が一体となった教育の実現と、地域に信頼される開かれた学校づくりをめざしています。

◆学校教育目標

『**確かな学力を備え、豊かな心を持ち、体力に富み、主体的に活動する拳の子**』
重点目標として、「確かな学力を備えた子どもの育成」に取り組んでいます。

◆めざす学校像

*児童が自主的・主体的に活

動し、活気に満ちた学校
*やさしく、思いやりの心が満ちあふれた学校
*環境が整備され、安全で安心な学校
*教職員が互いに高め合い、協働できる学校
*地域に開かれ、地域に信頼される学校

◆めざす児童像

こ 心豊かな子
ぶ ふるさとを誇れる子
し 主体的に活動する子
の 能力を発揮する子
か 体をきたえる子
わ 和を大切にする子

◆確かな学力 〓 知

【校内研修の充実】
研究主題を『生き生きと取り組み、ともに学ぶ子どもを育てる』とすることを大切にしながら表現し合う授業づくりを通してし、全教員が授業公開を行っています。あわせて積極的に外部講師を招へいし、教材研究ならびに授業研究を行い、「めあて」「学び合い」「まとめ」を重視した本校の授業スタンダードに沿った複式授業の研究を進めています。

【学力の定着・向上】

「基礎学力タイム（読書・計算・漢字各10分間）」や「パーフェクトタイム」、「こぶしの時間」を校時表に位置付け、基礎基本の確実な定着や活用などの問題にも取り組み、学力の定着・向上を図っています。

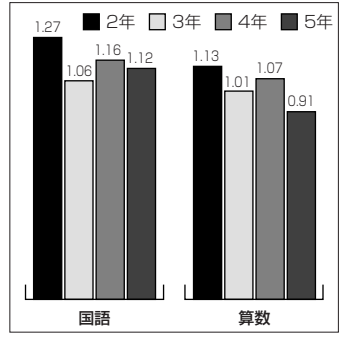
【読書の充実（豊かな心も）】

読書は、全ての学力の基礎となるものと押さえ、本校では、毎朝10分間の朝読書に取り組んでいます。また、家庭での20分間読書をPTAの取り組みとして4年前から行っています。また、環境づくりの一環として、教職員や児童による読み聞かせにも取り組んでいます。その成果は、児童の図書利用度や読書量の増加にも見られています。

【学力調査の活用】

右下のグラフは、今年度の標準学力調査の各学年目標値超過率の結果です。
結果を分析し、課題を明確にするとともに課題に関わる単元の授業公開・研究協議を行うなど、課題解決並びに授業改善に努めます。

平成24年度 標準学力調査



◆豊かな心 〓 徳

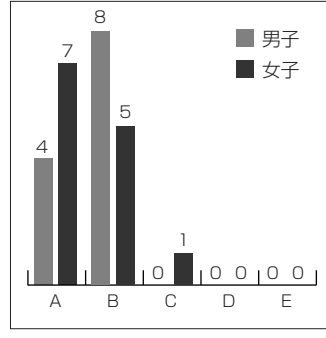
- 人権教育・道徳教育を中心に、取り組んでいます。
- *児童会活動
 - *全校レクリエーション
 - *あいさつ運動
 - *集団登下校等
 - *縦割り班活動
 - *掃除（草引き）
 - *なかよしランチタイム
 - *集会活動
 - *綴り方集会等
 - *PTA活動
 - *親子で腕まくり講座等
 - *コミュニティ活動

◆体力・健康 〓 体

【体力・運動能力調査の活用】
右下のグラフは、今年度実施した全校男子、女子の体力・運動能力調査の総合評価（A～Eの5段階評価）の人数結果です。
課題克服のために、今後も

体育の時間の「5分間体力アップ運動」や授業の工夫・改善を図り、さらに体力・運動能力の向上に努めます。

平成24年度 体力・運動能力調査



◆コミュニティ活動

計画の段階から保護者や地域の皆様が参画し、地域の自然・文化・人材の活用や教材化を図りながら、本校ならではの豊かな教育活動や体験活動の創造をめざして、「準備から後始末まで一連の活動を児童に」を合言葉に、次の3つのコミュニティ委員会を組織して活動を行っています。
★自然・環境コミュニティ
●うなぎはえ縄漁
●山芋掘り 他
★健康・福祉コミュニティ
●芋の栽培・販売
●しば餅づくり 他
★学び・文化コミュニティ
●地域調べ（各地区ごと）
●そばまき踊り 他

上川口小学校

「一人ひとりの子どもに
元氣と勇氣とやる氣を」

校長 植田雄二

◆はじめに

本年度は、新入生5人を迎
え、児童数37人、単式学級4、
複式学級1(5・6年生)の5
学級でスタートしました。

本校の児童は素直で明るく、
のびのびと遊び、元氣にあい
さつできるやさしい児童が多
いです。学力的には全国水準
にありながらも、意志を伝え
る技能に弱さがみられます。
自分で考え、自分の言葉で考
えや思いを人に伝える力を身
につけさせたいと考えていま
す。

昨年に引き続き、校内研究
の主題を、「自分の考えや思
いを生き生きと表現できる児
童の育成を目指して」として、
表現力を身に付けさせると
もに新学習指導要領に打ち出
された「言語活動」に結びつ
ける取り組みを実践していき
たいと思います。子どもと教
師が充実した時間の共有を図
ることが出来る楽しい学校を
目指していきたいです。

◆主な取り組み

○めざましマラソンと草引き

早寝・早起き・朝ご飯の奨
励は継続しているが、脳の目
覚めをよくするためだけでなく、命を守るためのランニ
ングを毎朝実施。タイムラゲは
ありますが、走った後は校庭
の草引きを全員で行い、気持
ちよく遊べる場作りを心がけ
ます。

○音楽朝会

毎月2回程度実施。美しく
響きのある歌声を目指し、発
声練習など子ども意識付け
ができており、朝会が始まる
までの自主的な練習も含め、
ハイレベルな取り組みができ
ています。

○朗読集会

各学級が教科書や作文をみ
んなの前で読みます。通常の
集会にも保護者の参加があり、
緊張した空気の中、すらすら
読めること、気持ちを含めて
読むことなど、目標を持って
取り組むとともに感想を自分
の言葉で表現し発表すること
を加え充実を図っています。

○合同総合集会

普段の学習の中で発表活動
にまで発展させられる内容に
ついては全体場で発表しま

す。年間8回計画し、うち4
回は保護者や地域にも公開し、
発表力・表現力を養います。

◆基礎学力定着の取り組み

○チャレンジタイム

水曜日を除く毎日、5時間
目が始まる前の10分間実施。
「数と計算」の領域を中心
に児童一人一人の進度に応じた
プリント学習を続けています。
学年によっては、漢字プリン
トにもチャレンジしています。

○日々の授業実践

一時間一時間の授業のめあ
てを明確にして、授業を展開
します。全学級が年間一度の
授業研究を実施し、研究パタ
ーンを3つとしました。

- ①全職員による教材研究・研
究授業・反省会(模擬授業
を教材研究時に行います。)
- ②全職員と講師を迎えての教
材研究・研究授業・反省
会
- ③講師による複式模範授業と
授業後の研究会

○Q-Uアンケート実施

安心して学習するためには
落ち着いた教室の雰囲気や学
び合うための友だちとの関わ
りが不可欠です。年間2回ア
ンケートを実施するとともに
学年を越えた個々の児童の情

報交換も積極的に図ります。
さらに詳しい分析をするため
に本年度も4年生以上でハイ
パーQ-Uを実施することと
しました。

◆標準学力調査の結果より

6年生は全国学力・学習状
況調査を実施。他学年は標準
学力調査を4月に実施しまし
た。ほとんどの学年で期待正
答率と同等か上回っている結
果でした。しかし、学年によ
っては、領域別では読み取る
能力や言語の知識理解に弱さ
があったり、観点では算数へ
の関心・意欲・態度が低い傾
向が見受けられました。

校内研修において、全学年
の分析結果をもとに個人的に
理解できていない単元・領域
を各学級・個人ごとに分析し、

平成24年度 標準学力調査正答率

	2年	3年	4年	5年
国語期待正答率	78.7	74.4	66.4	67.9
国語校内平均正答率	80.0	71.6	68.5	84.5
算数期待正答率	79.6	71.5	65.9	64.4
算数校内平均正答率	86.2	63.5	83.0	81.3

教師間での共通理解を図ると
ともに単元テストや本校作成
の小テストを利用して確かな
学力を定着させます。

◆特色のある教育の推進に関 わる活動

- ①全児童・教職員による通学
路・河川プール清掃など社
会奉仕に関わる体験活動
- ②上川口・蜷川の老人クラブ
の方々との愛校作業。作業
終了後に肩たたきゲームと
歌のプレゼントをし、楽し
い交流活動を実施
- ③地域や保護者の方々の協力
によりどろん
こ体験や米作
り体験、巨大
カボチャ作り、
道の駅ビオス
の協力による
芋の販売等勤労生産活動
- ④くじら保育所や老人ホーム
(シーサイドホーム)・障が
い者授産施設(誠心園)を
訪問しての交流活動
- ⑤小学校を取り巻く山や川、海
を活用しての自然体験活動
地域・家庭・保護者の方々
に気軽に足を運んでもらえる
「元氣の発進拠点」でありたい
と思います。

